

木更津市立小学校及び中学校通学区域審議会委嘱状交付式
第1回木更津市立小学校及び中学校通学区域審議会会議録

○開催日時：平成24年7月10日（火）

午後3時00分から午後4時30分まで

○開催場所：木更津市役所6階会議室

○出席者氏名

審議会委員：丸橋唯郎、齋藤勇、林伸子、吉田公、井菅清志、一戸祐人、
地曳謹司、鈴木利典、坂井真貴子、多田元樹、平野千津子、
鈴木節子、保泉昌宏

教育委員会：初谷教育長、石井教育部長、本多教育部次長

（学校教育課）廣部参事、田中副課長、米澤主幹、石渡副主幹、
鶴岡主査

（施設課）宮澤課長、平野副主幹

○議題等及び公開非公開の別

委嘱状交付式：公開

議事 (1)正副委員長の選出：公開

(2)諮問：公開

(3)（仮称）真舟小学校新設の経緯経過説明：公開

(4)今後の審議スケジュールについて：公開

○傍聴者 0人

○議事等概要

委嘱状交付式

教育長から各委員へ委嘱状を交付

教育長あいさつ

ただいま、お一人お一人に通学区域審議会委員の委嘱状をお渡しいたしました。各委員におかれましては、私どものお願いに快く応じていただき、また積極的に応募いただきましたこと心よりお礼申し上げます。

さて、通学区域審議会であります。木更津市立小中学校については規則によって通学区域を設定し、通学すべき学校を指定しております。この通学区域を改定するには審議会の審議を頂くことが条例により求め

られております。

本日、早速諮問をさせていただきますが、木更津市の人口増に伴い児童生徒数も増加しており、その傾向は請西地区において著しく、既に請西小学校が大規模化しております。

端的に申し上げますと、現在人口が急増している地区の周辺に新たな学校を設置することとなります。

それに備えて学区線引きの見直し、通学区域の適正配置について審議会のご意見を頂き、26年4月予定の開校に備えたいと考えております。

開校まで、条例規則の整備を含め諸々の準備等を勘案して、年内を目途に答申を頂きたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

詳細は改めて、会議の中で申し上げますこととし、開会にあたっての挨拶といたします。

議事(1)正副会長の選出について

審議会条例第5条第2項の規定に基づき、会長に丸橋唯郎委員、副会長に齋藤勇委員が選出された。

議事(2)諮問

初谷教育長から丸橋委員長に諮問書が交付され、引続き事務局、廣部参事から諮問について説明を行った。

(説明概要)

廣部参事

今回の通学区域審議会では、平成23年10月に策定されました「木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」で新設が適当とされております、(仮称)真舟小学校の通学区域に関するご審議をいただきたいと存じます。

今回、通学区域をご検討いただく請西小学校に係る基本方針を確認させていただきます。

『土地区画整理事業により、人口が急増している請西南地区が通学区域内にあることから、今後児童数の増加により更なる大規模化が予測され、施設面で教室不足などの課題が生じると考えられます。そこで、本市が所有している学校予定地のうち、最適と考えられる(仮称)真舟中学校予定地に小学校を新設します。それに伴い、木更津第二小学校・清見台小学校との通学区域の見直しを行います。』とされております。

また、併せて、(仮称)真舟小学校卒業生の進学先となることが予想されます木更津第二中学校と太田中学校の通学区域につきましても、平成18年度に変更されておりますので、再度、見直しをお願いしたいと存じます。

請西小学校につきましては、昭和54年に開校し、児童数の増加に伴

い、昭和56年、平成3年に増築し、最も近いところでは、平成15年に普通教室8教室分の新校舎を増築してまいりました。ところが、請西東、請西南地区の更なる開発により、児童数が増加し、視聴覚室等、特別教室の普通教室への転用等で対応し、現在に至っております。

(質疑応答)

丸橋議長 この諮問について審議をして、最終的に本審議会としての答申を出すということになります。諮問の内容について、何かご質問はありますか。

齋藤委員 この小学校は、スタート時点ではどのくらいの規模を考えていますか。

廣部参事 現在の推計ですと、およそ650名の児童と考えています。請西小学校と(仮称)真舟小学校ともに600名から650名程になるかと考えています。

議事(3) (仮称)真舟小学校新設の経緯経過説明

丸橋議長 これから(仮称)真舟小学校の通学区域を審議していくにあたって、まずはこの新設校に関わる現状を把握する必要があります。すでに校舎等の建設については進んでいると聞きますが、どのような状況にあるのか、学校周辺の子どもたちの人数なども含めて、事務局から説明をお願いします。

(説明概要)

廣部参事 [まず(仮称)真舟小学校周辺の航空写真により周辺の状況を説明。] それでは、児童数の推移を概観してまいりたいと思います。別冊資料の「新設校対応しない場合の数値」という資料をご覧ください。この表は、0歳から小学校6年生までの幼児・児童数、そして、下の2段は学級数になります。なお、これは市民課の住民基本台帳を元に作成したもので、今後の社会増は含まれておりませんので、ご承知おきください。

はじめに、請西小学校ですが、表の右下をご覧くださいますと、今年度は普通学級32学級、特別支援学級3学級の35学級で運営しております。現在は、視聴覚室等、普通学級に転用可能な特別教室を普通学級として使用させていただいています。

平成25年度が、同じく32+3で35学級、平成26年度、27年度が31+3で34学級と推計ではなっています。しかしながら、国の施策によりまして、現在1年生が標準学級で35人学級、2年生が弾力的運用を活用して35人学級で行っていますが、国は今後も35人学級を拡大していく方向で検討中ということですので、平成25年度以降の学級数につきましては、流動的です。いずれにしましても、余裕教室がありませんので、柔軟な教育活動が十分にできないという課題がありま

す。

(仮称)真舟小学校周辺の地図をはさんでありますので、ご覧ください。請西小学校の児童数を地区別にご覧いただきますと、請西東地区と請西南地区の児童数が多いということがおわかりになると思います。

特徴としましては、請西東地区は、徐々にではありますが減少傾向にあり、請西南地区が増加傾向にあるということもおわかりになるかと思えます。特に、5歳児以下の請西南3丁目から5丁目の増加率が著しいことがわかります。ここには社会増が含まれておりませんので、更に増加していくことが予想される場所です。

続いて、清見台小学校です。平成18年度の通学区域の変更で請西小学校から清見台小学校に変更されました東太田1丁目・2丁目の一部地域、太田3丁目・4丁目の一部地域が、今回関係してくると思いますので、ご審議いただきたいと思えます。

木更津第二小学校ですが、平成18年度の通学区域の変更で、請西小学校から木更津第二小学校に変更されました真舟1丁目から真舟5丁目が今回の審議の対象になろうかと存じます。

最後に、太田中学校と木更津第二中学校の通学区域についても、現在は請西東地区の1・2・4・6丁目が木更津第二中学校、3・5・7・8丁目が太田中学校というかたちになっていますが、現在の5歳児以下が中学生になるあたりの人数を検証して審議の対象にさせていただければと考えています。

(質疑応答)

丸橋議長
廣部参事

社会増という言葉は聞きなれないのですがどういう意味ですか。
社会増とは、今後転居してこられる方によって人口が増えることを言います。

吉田委員
廣部参事

資料の学級数の欄に、38人編成と35人編成の二つがあるのはなぜですか。
現在文部科学省は、小学校1年生については35人で1学級、36人からは2学級にするようにとしています。2年生から6年生は40人で1学級を標準学級とするけれども、40人では多すぎるから、2年生については35人で1学級にしてもよい、ただし人件費等々は県で負担しなさいとされていますので、千葉県は2年生は35人で1学級としています。また、3年生から6年生は38人でもよいとされていますので、千葉県は38人で1学級としています。

吉田委員
廣部参事

そのように国が決める理由は何ですか。
国としては、できるだけ1学級の児童数を減らしたほうが、手厚く子

どもたちを見られるという考えが根幹にあるのだと思います。

ただ、学級数が増えるということは教員数が増えるということになりますので、その分予算が必要になります。

吉田委員

木更津はお金がないから、40人でやりましようかと決めてしまえばそれでできるということですか。

廣部参事

千葉県は全て小2は35人、小3から小6は38人を標準学級としています。市独自ではできません。

一戸委員

請西東に住んでいて、請西南の人口増加は請西東の倍以上のスピードで進んでいるように感じます。

先の話で恐縮ですが、現在宅地造成中の千束台はどういうふうに考えていますか。請西小学校のプレハブの教室がはたして良かったのかという反省を踏まえて、見通しは難しいとは思いますが、新設校の敷地はかなり広いようですので、この辺も十分考えておいたほうがよいかと思います。

丸橋議長

社会増が更に予想されるのではないかという状況で、先を見越して考えておくというのは必要ですね。

廣部参事

千束台の開発につきましては、教育委員会の立場では明確にはお答えできないのですが、今回新設している校舎は普通学級が27学級まで可能ということで、予想以上の社会増があった場合にも対応できるように考えています。

(説明概要)

宮澤施設課長

私から、施設の概要等を説明させていただきます。

木更津市のホームページを印刷しました資料をご覧ください。

本年4月7日に請西小学校の体育館で(仮称)真舟小学校について説明会を開催しました。その情報をホームページで公開しているものです。

本年2月に契約しまして、10月31日までの工期で東京の岡設計が現在設計業務を行っています。

廣部参事から説明がありましたように、普通教室については多目的室などを活用すると27学級まで準備できます。事業の目的については、請西小学校の大規模化の解消、工事の概要については、校舎棟がおよそ5,700㎡、屋内運動場がおよそ1,215㎡、水泳プールが25m×15mで7コース、プールハウスが約100㎡、その他グランド整備や外溝工事を予定しています。

事業スケジュールですが、平成24年12月に工事の契約を目指しているところです。25年1月に工事に着手し、1年間工事期間をみまして、26年1月に工事完成、引渡しを受けて26年4月に供用開始を予定しています。

建設予定地は、中台浄水場の西側、真舟2丁目です。敷地は2段に別れていまして、西側にグラウンド、東側に校舎棟と体育館を建築する予定です。校舎棟は鉄骨造の2階建てで、南側に普通教室を配置する予定です。

こちらの学校用地につきましては、周辺が傾斜地になっていて、道路と同じ高さで敷地が接しているところが2箇所しかありません。

資料の図面上、東門と書いてあるところが、道路と学校の敷地の高さがほぼ同じところですが、正門のところで、2メートル前後の高低差があり、駐車場と書いてあります敷地の角までいくと、4メートル前後道路のほうが低いという状況になります。西門と書いてあるところで、道路と敷地の高さがほぼ同じになり、グラウンドとプールの境目くらいのところでは道路のほうが5メートルから7メートルくらい高いといった高低差があります。

出入り口としては、車は東門と西門、子どもたちは徒歩であれば正門から入れるということで、3箇所を予定しています。

(質疑応答)

吉田委員 南道路から西門にかけて、側溝等が欠損している場所がけっこうあります。それらについては補修をしてもらえるのでしょうか。

宮澤施設課長 道路上ですので、直接教育費で対応とはならないかと思いますが、南道路を歩いて車が入り出すことも考えられますので、都市整備部と調整していきたいと思います。

地曳委員 校舎の部分の土地と、グラウンドの部分の土地の段差はどのくらいですか。

宮澤施設課長 およそ5メートル、太田中学校にも同様の段差がありますが、それとほぼ同じくらいです。

地曳委員 予定地を見たことがないので、できれば一度現地を案内してもらえればと思います。

田中副課長 次回の会議のときに、現地を見ていただけるようにしたいと思います。

丸橋議長 南側からは全く入れないということですか。

宮澤施設課長 南側に入り口を設けることは予定していません。

議事(4)今後の審議スケジュールについて

(説明概要)

田中副課長 平成26年4月に新たな学校の開校を予定していることから、本日の諮問に対する答申を今年中にお願いしたいと考えています。

つきましては、第2回審議会を8月、第3回審議会を10月、第4回審議会を11月に予定させていただいています。

第2回目には現地確認を含め、第2回と第3回の審議会でご検討いただき、第4回には答申をいただきたいと考えています。

なお、答申をいただいた後、教育委員会で素案を取りまとめのうえ、市民意見公募、パブリックコメントを実施する予定です。

今後の会議の開催につきましては、会場等の都合で若干前後することもあります。なるべく早く決定をして、ご案内をしたいと考えていますので、よろしくお願いします。

丸橋議長 事務局からの説明のとおり、平成26年度開校というスケジュールからすると、今年中に答申を出していくことが、通学する児童や保護者のためにも望ましいと考えます。審議会の審議スケジュールについては、事務局提案のとおりとすることにご異議ありませんか。

《異議なしの声あり》

丸橋議長 ご異議ないようですので、事務局提案のとおりといたします。

事務局は、次回審議のために、(仮称)真舟小学校の通学区域の案を作成しておいてください。また次回の会議の際は現地確認として先ほど地曳議員からご意見がありました予定地の視察をしたいと思えます。ご異議ありませんか。

《異議なしの声あり》

丸橋議長 ご異議なしということで、次回は予定地を視察します。事務局はバスなどを手配してください。

吉田委員 通学区域の素案をできれば事前に見せてもらいたいと思えます。

田中副課長 開催通知と一緒に、後日なるべく早くお手元に届くようにいたします。

丸橋議長 以上をもちまして、本日の議題はすべて終了しました。

次回の審議会は、審議スケジュールのとおり、8月中に開催したいと思えます。おって文書でご案内をいたします。

本日は、お疲れさまでした。

以 上

上記会議録を証するため下記署名する。

平成24年8月28日

木更津市立小学校及び中学校通学区域審議会会長 丸橋 唯郎